

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成28年5月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

前月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は5から6に増加。「減少した」業種は8から7に減少。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は4から7に増加。「減少した」業種は12から11に減少。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は2のまま変化なし。「悪化した」業種は13から16に増加。

前年同月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は6のまま変化なし。「減少した」業種は8から7に減少。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は8から11に増加。「減少した」業種は13から9に減少。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は4から6に増加。「悪化した」業種は15から13に減少。

製造業

酒類製造

【県内全域】

前年比、前月比とも微減。とは言え、金額のやや高い特定銘柄酒が引き続き好調。明るい兆しは出てきている。

製材

【木更津】

米材船1隻入港。南用材・ロシア材は入港なし。米材の在庫は増加したが他は減少している。

印刷

【県内全域】

景況の変化について、5月の県内組合員受注売上は、ほぼ4月の横這いの数字で一向に景気が改善していない模様です。来日外国人によるインバウンド効果も一時期の勢いが無くなり、国民の消費もデフレの状態が引き続き継続しています。政府も補正予算を組み景気浮揚を目指していますが、将来の社会保障や国の債務等の不安が払しょくできません。これらの結果として消費が上向かず、相変わらず激しい価格競争中。

電気鍍金

【県内全域】

3、4月は前年以上でしたが、5月は一気に低下しました。

鉄工

【千葉】

国内景気を取り巻く環境は急速に厳しさを増している感があり、

組合員各社の受け止めも同様に厳しい見方が多く、景況は芳しくない。

機械部品製造

【野田】

停滞ムードが続いている。各工場の操業度が落ちてきている。時短による生産コントロールする組合員が出てきた。

機械部品製造

【流山】

一部の業種では、受注が増加しているが、いつまで継続されるかわからない状況である。

機械部品製造

【柏】

全体的に低迷、動きが悪い。先行きが不透明(多少受注があってもいつまで続くか)。業界の動きについて、軽量化、新製品、試作等は活発な動き。

金属製品製造

【船橋】

4月以降、取引先の生産台数が減少し悪化している。

採石

【県内全域】

5月の出荷は大幅にゼロに近い状況で、平成28年度の出荷量を前年並みの30万㎡と予想したが厳しい状況になろう。港湾整備に伴う石材の需要は秋以降に見込まれるが、需要量が少ないようである。

オリンピックの選手村の嵩上げ事業が今年度予定され、液状化防止

の上から砂でなく、ズリの需要が見込まれる。平成29年度は東京都港湾局、横浜市港湾局及び国交省京浜工事事務所管内で港湾整備事業が予定され、石材の需要が大きく増えると予報されるが、資源の枯渇もあり厳しい。

【土砂採取】

【県内全域】

県内の出荷の低迷や採取可能な資源の枯渇等により経営環境は厳しさを増している。洗砂、山砂とも需要が対前年比較で大幅に減少して先行きは不透明である。秋口まで現状の景況感が続くと思われる。東京五輪特需を控え今期及び来期は当業界にとって期待したい。

非製造業

【総合卸売】

【千葉県・東京都】

【日用雑貨卸】 例年に比べ気温が高いいことから、夏用品(防虫剤、殺虫剤等)や、洗剤・柔軟剤等の出荷がはやくなっている。

【食肉卸売】

【千葉市他】

屠畜頭数の減少により収益の悪化が進んでいる。業界動向は、豚は病気(PED)により牛は農家数の減少により、屠畜頭数の減少が進んでいる。

【建築材料卸売】

【県内全域】

景況の変化について、極めて悪

くなっている。公共、民需、建築土木すべて減少低迷。物件がないため再び値下げ、デフレに向かっている。

【自動車解体】

【県内全域】

5月中旬までは、スクラップ価格前年並みまで回復したが、その後半月で大幅に下落し、年初レベルまで戻ってしまった。景気悪い。

【乾物卸売】

【県内全域】

本年度海苔生産量、千葉県は対前年比生産量64%、金額76%。全国生産量91%、金額100%。千葉県海苔原料不足・価格の高騰で販売には非常に難しい状況下となった。

【電気機器小売】

【県内全域】

相変わらず、メーカーも家電部門は大変厳しい、特に今まで良かった白物家電が7、8割の出荷量で、量販に至っては、6割の売り上げで、ヤマダ電機は数十店成績の悪い店を閉店に追い込まれた。我々零細店では、さらに厳しい。地方再生プレミアム券に期待したい。

【青果小売】

【千葉市】

ゴールデンウィーク後より商品の動きが悪くなってきた。果物は夏物の入荷がはじまり今後に期待したい。

【小売】

【東金】

景況の変化について、ファッション関連品は、夏物の動きが始まった。単価が下がっている。商品が動いてきている感はある。日用品関連は微減になってきている。飲食・食品関係は、相変わらず客数減で苦戦をしている。

【小売】

【野田】

衣料などの高額商品の売上が低迷している。売れないので値引きセールをするという悪循環になっている。

【小売・サービス】

【柏】

商店会はずれに、ヤックスが開店し流れが変わる事を心配したが、今のところ最小限の影響で済んでいるようだが、出店店舗周辺住民の来街は、やはり減っている模様。大型ショッピングセンター「アリオ」の開店は当商店会の中心顧客の中高年齢者にはあまり影響は感じられない。いずれにしても当商店街の景況好転には良い影響ではない。業界ではますます低価格が進んでいるように感じられる。報道の通りユニクロが価格を上げたことにより売り上げダウン急遽値下げセールを実施、三越本店のリニューアルに際して衣料品売り場の大幅削減が報じられている。

の大幅削減が報じられている。

【遊覧船】

【鴨川】

5月は、ゴールデンウィーク中の4日に天候不良で欠航となり、また5月一ヶ月を通して全体的に入込数が昨年と比較して減少しています。

【学習塾】

【県内全域】

ICTの活用が塾にも浸透しつつある。組合でもこの問題について、もっと取り組んで行く必要がある。

【建設】

【県内全域】

組合員による県内公共工事の落札結果は、前年と同様大幅に増加し、前月比2,237百万円増となった。これは、山武郡市における増加額1,333百万円が大きくなる寄与している。しかしながら5月の対前年比では△336百万円の減少となっており、4、5月の累計額でも前年比△1,045百万円の減少になっている。

【貨物輸送】

【野田】

景況の変化について、先月に続き燃料費が少しずつ上昇している。

【輸出入】

【県内全域】

景況の変化について、5月の売上は前月比は増加しましたが、前年同月比は横ばい状況であった。